

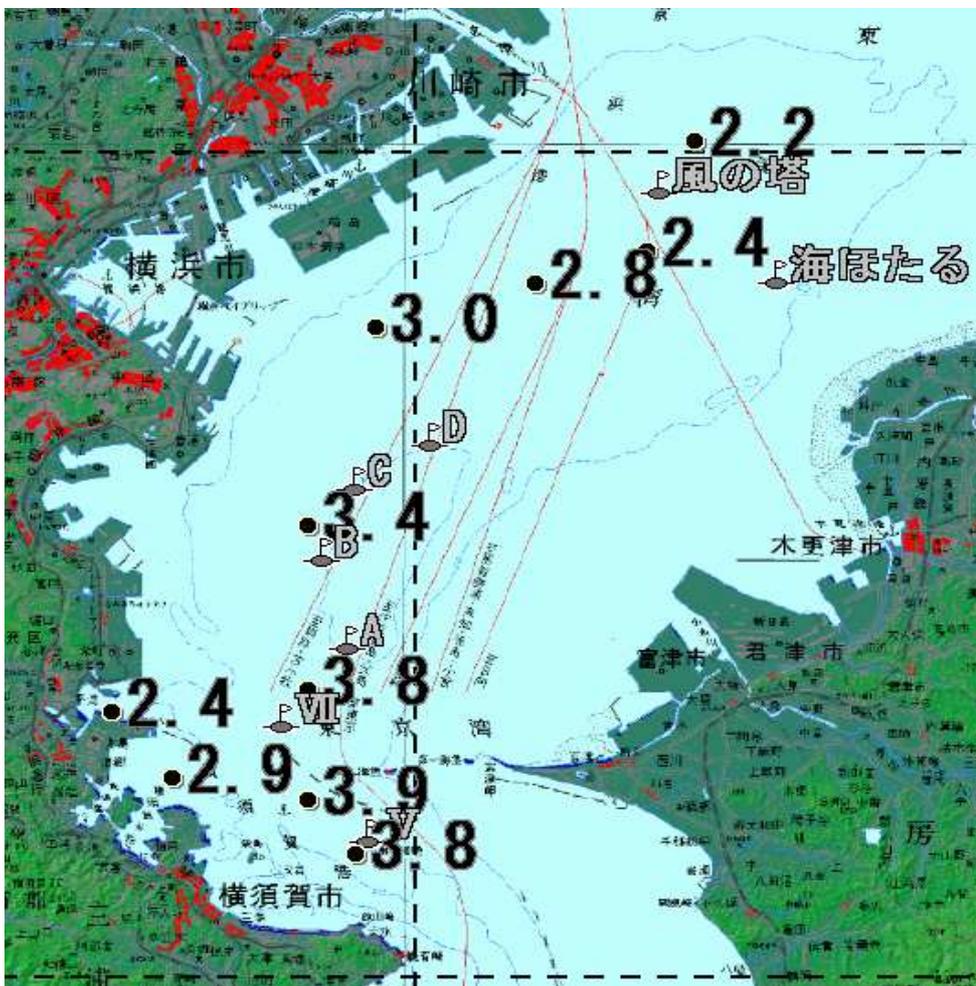
南部海域では溶存酸素量がやや改善しました。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2008/08/20

神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協金沢支所の
第七忠彦丸により東京湾調査を実施しました。

- 水温は、表層で 25~27℃ 台、底層では 16~17℃ 台です。
- 外洋からの高塩分水が風の塔周辺の底層まで波及しています。
- 貧酸素水塊 ($\leq 2.5\text{ml/l}$) はアクアライン付近まで後退しました。
この辺りでは、水深 10~20m 付近で最も溶存酸素量が少なくなっています ($\leq 1.0\text{ml/l}$ 、中層貧酸素水塊です)。
- 深浦沖や八景島脇のアナゴの活け場では溶存酸素量は少なめです。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

上下の水温差や中層貧酸素水塊があります。
引き続き、漁獲物の取り扱いにご注意ください。